

Ópusztaszer (オープスタセル)

基本情報

人口： 2279人 (2010年1月1日現在)
面積： 59.50km²
場所： 西ハンガリーの Csongrád megye (チョングラード県)

歴史

オープスタセルは小さな自治体で歴史はなぞだらけである。一番昔の記録によると1200年には Scerii (スケリー) と言われていたそうである。Györffy György (ジョルッフイ・ジョージー 1917年生まれ)の史家によると昔 Ond (オンドウ・国家の創立者) の一人) と Ond の息子 Ete (エテ) がここに住み始め、彼らの末裔がここに Bor-Kalán(ボル・カラーン)の一族を創立したらしい。オープスタセルと言う名がはじめて記録に登場したのは1348年だが今のオープスタセルより小さかった。あのときはオープスタセルではなく Suenhaz と呼ばれていたから Suenhaz という名前で記録された。Suenhaz とは Sövényház の昔の言い方なのである。この名前は、この地方の伝統的な建物の形からつけられた。今のハンガリー語だと Sövényház = Sövény + ház (シュヴェーニハーズ) となる。シュヴェーニハーズとは柵と粘土から作られた家の事である。その後、1803年に Gróf Zichy Leopoldina という人が Mindszent-**alg**yő の領地を購入し、そこでタバコ栽培を始めた。そしてそこで働く人を栽培地の近くに住ませた。その後、人口が増え 1500 名ほどになった。周りの二つの村と合わせてオープスタセル・バクシュ (Baks) ・ドーツ(Dócz)の人口が 6872 人になったが、まだ町の中心となる場所が出来なくて町にはならなかった。1945年に公民館も出来て、1970年からは近くの農場から人々が町に移り住むようになった。こうして現在のオープスタセルが生まれた。

名所

Nemzeti Történeti Emlékpark (国立歴史公園) が町で一番大きな名所である。この歴史公園には昔のハンガリーの家 (Jurta・ユルタ) , 食べ物, ゲームなどを見ることができる。またゲームは見るだけではなく、参加することも出来る。このゲームは有料だが、ゲームに必要なジェトンは 200 フォリントで購入できる。このジェトンは公園内で使えるお金であり Tallér (タッレール) と呼ばれている。ハンガリー人は昔、遊牧生活を送っていたので、その生活についてのプログラムも見ることができる。

リンク・インフォメーション・予約・ガイドサービスなど：

電話: +36 62 275 133, +36 62 275 257, +36 30 982 3117
(103, 104, 105-ös melléken, 日常 8時から 16時まで)

スカイプ I D: jegyrendeles_opusztaszer

ファックス: +36 62 275 007

お問い合わせ： info@opusztaszer.hu

Tourinform Iroda (ツアーインフォームオフィス) :
e-mail: opusztaszer@tourinform.hu

電話.: +36 62 275 133; +36 62 275 257

携帯: +36 30 982 3117

住所： 6767 Ópusztaszer, Szoborkert 68.

開園時間

冬の開園時間 — 2012年11月12日 – 2013年3月30日

冬以外は火一日の10時から16時まで

□ ご注意 □

冬には屋外デモンストレーション (Skanzen, Csete-jurták, Gátórház, Útkaparóház, Erdésház, そしてアーチェリー) は行われていない。

F e s z t y や R o t u n d a は開いている。

ホームページ

www.opusztaszer.hu

入場料

FESZTY CSOMAG (フェスティ・チョマグ) : 2200 HUF

サービス : Feszty の円形パノラマ, Rotunda (Panoptikum 以外)

TÉLI FESZTY (テーリ・フェスティ―“冬フェスティ“): 1800 HUF

サービス : Feszty の円形パノラマ

CSOPORTOS FESZTY CSOMAG (チョポルヨシュ・フェスティ・チョマグー10人以上; HUF/人) : 1760 HUF

サービス : FESZTY CSOMAG の値段から 10%ダウン (十人以上の場合)

ROTUNDA (ロトゥンダ) : 1000 HUF

サービス : ロトゥンダのすべて

PANOPTIKUM (パノプティクム) : 800 HUF

サービス : 復興円形刑務所, 「キングスクラウン、ロイヤルクラウン」

Feszty Kártya (フェスティ・カールチャ) 7000 HUF

サービス : 一年間綺麗なカードを使って公園のスベテを無料で見られるカード。個人的なので名前は付いてる。

□ ご注意 □

Feszty の円形パノラマを見るには予約が必要となっております! 30分ごとにグループがスタートする。

公園内の歩き方



入り口を入ると Székelykapu（セーケイカプ・セーケイの扉）がすぐ見える。Verecke setany を歩くと角に着く。そこを Feszty Arpad setany へ入ってしばらくいくとまた角に着く。そこを Millenium Ter へ回ってまっすぐ行くと Rotunda（ロトゥンダ）に着く。ここにヴィシターセンター、Feszty の円形パノラマ、常設そして期間限定の展示、インフォメーションオフィス、Feszty カフェ、お土産屋・トイレなどがある。この近くに Zaportarozo（ザーポルターロゾー・大雨貯水池）もある。

ここから Millenium setany（地図＝上）を歩くと Arpad emlékmű szoborpark に着く。ここではいろいろな彫像が見られる。そこから左に歩くと Monostor（モノシュトル・修道院）に着く。といっても修道院は廃墟しか残っていない。ここには“Szer oroksege”（セルオロクシェーゲ・セルの遺産）という追悼記念碑と“Szer Hangja”（セルハンギャ・セルの音）という鐘が見られる。

Szent Istvan setany と Szent Imre setany の合流点には Csete-Jurtak (チュテ・ユルターク) がある。ここでは「森と人」と言う合同展覧会と Világmagyarság hajleka を御覧いただける。

Balint Sandor setany を歩くと Skanzen (シュカンゼン・屋外博物館) に着く。シュカンゼンでは二つの世界大戦の間の Csongrad 県の人々の生活、そして土地特有の建築物が見られる。

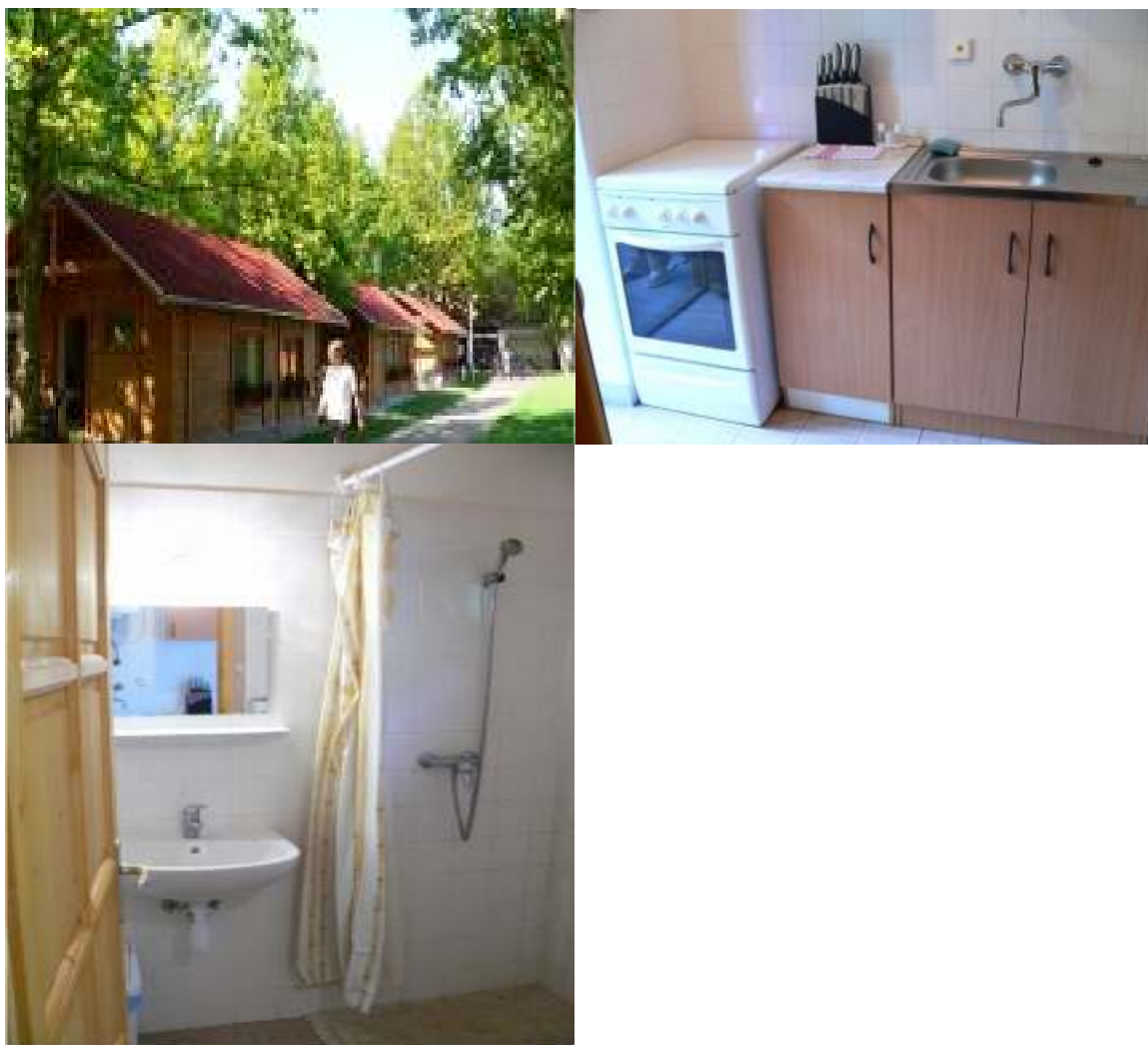
Korosi csoma sandor Setany を歩くと、Nomad park に着く。この公園ではハンガリーがこの地に来た頃の人々の日常生活やアーチェリーの実演を楽しめる。

地図では印がないところもありますが是非散策ください。

宿泊施設

国立歴史公園のすぐ近くにある Szeri kemping (セリ・ケンピング) がお勧め。色んなタイプがある。

- 1 三個 四人のためのアパートメント
12600HUF / 泊
冷蔵庫・ガスストーブ付きの簡易キッチン・トイレ・シャワー・テレビ・バリアフリー・エキストラベッド (エキストラベッドが2台ある、追加ベッド料金は1台2100HUF)
- 2 十四個 二人のためのシャレー
3780HUF / 泊
- 3 25台分のキャンピングカー用のスペース
3150HUF / 泊 (水と電気が取れる, 廃水処理あり)
- 4 60個 のテントスペース
1050HUF / 人 / 泊
- 5 ユルタの宿泊施設
1500HUF / 1人 / 泊
6000HUF / 6人 / 泊
8000HUF / 8人 / 泊
洗濯: 毎回500HUF
料理: キッチン使用一時間500HUF
駐車場: 500HUF / 日 / 台
寝具使用する: 一人500HUF



ここにはバーベキューエリアもある。また、キャンプの近くにある Szeri Csarda
で食事もできる。

インフォネーション・予約・リンク：

+36 62 275 133 (mellék: 208)

+36 30 642 77 66

kemping@opusztaszer.hu

<http://www.opusztaszer.hu/szallas/szeri-kemping>

住所： 6767 Ópusztaszer, Szoborkert 68.

チャールダについて

チャールダとは基本的に「居酒屋」という意味を持つがただお酒を飲む場所ではない。 レストランのようなものである。キャンプに泊まるお客様に朝・昼・夜ご飯のサービスがある。

電話: +36 30 503 8605

メール: szericarda@opusztaszer.hu

F B : www.facebook.com/szeri.csarda

是非オープスタセルに来てください！ ^ー^

ガイドブックについてのコメントやオープスタセルでの経験についてはしたのメールアドレスまでお願いいたします。

kukatur@gmail.com